

## 普仙寺だより

第137号 平成18年9月



平成18年8月16日柳生川にて灯籠流しをしました  
灯籠を前にして合掌される檀信徒さん

## 四誓偈（しせいげ）

「四誓偈」は浄土三部経のうち『無量寿経(むりょうじゅきょう)』の中にある偈文です。

阿弥陀仏の前生を法蔵菩薩といいます。法蔵菩薩は世自在王佛の御前で48の願を立てられ、これらをまとめ、4つの誓いを立てられました。

浄土宗ではこの文を「四誓偈」と呼んで、日々拝読させて頂いています。

一行ずつ紹介します。

我建超世願(がごんちようせがん)

読み 我れ超世の願を建つ(われちようよのがんをたつ)

意味 私(法蔵菩薩)は、世に超えたすぐれた四十八の願を建てました

必至無上道(ひっしむじょうどう)

読み 必ず無上道に至らん(かならずむじょうどうにいたらん)

意味 かならずこの上ない覚りの世界に至りましょう

斯願不満足(しがんふまんぞく)

読み 斯の願満足せずんば(このがんまんぞくせずんば)

意味 この願いが成就しないというならば、

誓不成正覚(せいふじょうしょうがく)

読み 誓って正覚を成ぜじ(ちかってしょうがくをじょうぜじ)

意味 誓って悟りを得ることはありません。

我於無量劫(がおむりょうこう)

読み 我れ無量劫において(われむりょうこうにおいて)

意味 私は永遠の時に於いて、いつまででも

不為大施主(ふいだいせしゆ)

読み 大施主となりて(だいせしゆとなりて)

意味 大いに恵み施す主となって

普濟諸貧苦(ふさいしよびんぐ)

読み 普く諸もろの貧苦を救わずんば(あまねくもろもろのびんぐをすくわずんば)

意味 貧しく苦に苛まれている多くの者を、一人のこらず救えないというならば

誓不成正覚(せいふじょうしょうがく)

読み 誓って正覚を成ぜじ(ちかってしょうがくをじょうぜじ)

意味 誓って覚りを得ることはありません。

我至成佛道(がしじょうぶつどう)

読み 我れ佛道を成ずるに至らば(われぶつどうをじょうずるにいたらば)

意味 私が覚りの世界を完成したならば

名声超十方(みょうしょうちようじっぽう)

読み 名声、十方に超えん(みょうしょう、じっぽうにこえん)

意味 私の名前が十方の世界にまで響きわたることでしょう

究竟靡不聞(くきょうみしやうもん)

読み 究竟して聞こゆる処なくんば(くきょうしてきこゆるところなくんば)

意味 すみずみまで響きわたらないというならば

誓不成正覚(せいふじょうしょうがく)

読み 誓って正覚を成ぜじ(ちかってしょうがくをじょうぜじ)

意味 誓って覚りを得ることはありません。

## 800年前の法然上人

今から800年前、建永元年(西暦1206年・4月27日改元)の9月、法然上人の周辺ではどのようなことがあったのでしょうか。

『西山年譜要紀』によると、9月10日、法然上人が弟子の善恵房証空上人に浄土宗の教えを相伝されています。

## 灯籠流し

8月16日の夜7時より7時30分まで市場祈念碑下の柳生川河岸にて灯籠流しを行いました。  
始めに住職が位牌の前で読経しました。



平成18年8月16日柳生川にて灯籠流しをしました

読経の後、点火された灯籠を家族が手に持ち水辺に進みました。

灯籠は連結し、船で沖へ曳いて貰いました。

灯籠はあとで回収しました。



平成18年8月16日柳生川にて灯籠流しをしました

## 平成18年秋彼岸会 塔婆申込を受け付けています

所定の申込用紙に記入の上、本堂内の申込箱へ入れるか、郵送ください。

※塔婆回向を希望する方のみお申込ください。

封筒読み上げ回向の方は、彼岸回向封筒をお使い下さい。

## 寺行事案内

### 土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

### 秋彼岸会（あきひがんえ）

平成18年9月23日（土・祝） 午後1時～2時30分

檀信徒各家のご回向を致します。

御回向の方法に2種類ありますので、どちらかひとつをお選び下さい。

#### 1. 封筒読み上げ回向

彼岸回向封筒に記入された先祖代々名または戒名を読み上げて、ご回向します。

回向料はお気持ちです。

#### 2. 塔婆回向

先祖代々名または戒名の塔婆にてご回向します。

所定の申込用紙にて事前にお申込下さい。回向料は1霊3,500円です。

秋の茶会（あきのちゃかい）

平成18年9月23日（土・祝） 午前9時～午後1時

檀信徒会館の和室でお抹茶をご用意します。